

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2019年 冬号 vol.24



▲ 看護部の平成30年度の新人看護師たちです。日々頑張っています。

特集 「看護部」のご紹介

がん診療コーナー 舌がん

お知らせ 青島市市立医院より考察団、来院 ほか

もっと知りたい 言語聴覚士

地域の絆 だて整形外科リハビリテーションクリニック

山口内科

2019.2.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集

We are nurses!

看護部のご紹介

病院で一番身近な存在は看護師という方も多いのでは？

入職1年目の看護師を通じて看護部のご紹介をさせていただきます！

Q1 仕事内容について
教えてください。

整形外科病棟は、手術期の患者さまが多い急性期の病棟ですが、回復過程が間近で見られる病棟でもあります。手術前後の管理や痛みの緩和処置、多職種との連携や密に機能的改善を重視した看護、ADL（日常生活動作）の援助や退院指導を行い退院できるように関わっています。

Q2 看護師を目指した
きっかけは？

私自身が、入院中気分が落ち込んで、誰とも話したくないと思って

た時期がありました。私の態度がひどかったのに一人の担当看護師が話しかけてくれて、日にちが経つにつれて話すことができ、笑顔が戻ってきました。私も一人一人の患者さまの悩みや話を聞き、笑顔にできるようになりたいと思い、看護師を目指しました。

Q3 今後の目標を
教えてください。

私の今後の目標は、患者さまやご家族の心に寄り添って、その人らしい生活ができる看護を目指し、笑顔



4階西病棟 村上 梨花

を忘れず、患者さまやほかのスタッフに信頼されるよう知識、技術を身に付け、責任と根拠を持って行動していくことです。

先輩ナースから一言

手術件数も多くとても忙しい病棟ですが、落ち着いて業務に取り組んでいます。入職時から自身で考えて行動できるような関わりを心がけてきました。今では、少しずつ優先順位を考えながら行動できるようになっています。今後の成長が一層楽しみです。

*プリセプター

△4階西病棟勤務▽ 大内 沙彩



▲ 4階西病棟は整形外科病棟として、患者さまの日常生活の自立を目指して看護に取り組んでいます。



▲ プリセプターの伊達さん（左）と一緒に

5階西病棟 藤原 さおり 沙織

Q1 仕事内容について教えてください。

地域包括ケア病棟に所属しており、退院支援に力を入れています。退院支援は患者さまが自宅で困ることはないか、様々な視点から援助を行わなければならないので患者さまの訴えを傾聴できるように日々心がけています。

Q2 看護師を目指したきっかけは？

私の母は喘息があり苦しそうにしている時、私は背中をささることし

Q3 今後の目標を教えてください。

かできませんでした。しかし母からもらった手紙には心強かったと感謝の言葉が綴ってありました。人に寄り添った仕事がしたいと思い、看護師を目指しました。

患者さまがサービスなどを利用して自宅に退院できるよう個性を持った看護が必要になるので、患者さま本人のADL（日常生活動作）、自宅の環境、家族の介護力などを把握し患者さまの立場に立って考えることが出来る看護師を目指します。

先輩ナースから一言

いつも笑顔で対応し、業務を1日でも早く覚えようとする姿勢は、私自身もいい刺激になっています。覚えることがたくさんあり毎日大変ですが、その笑顔を忘れず、患者さまに寄り添うことのできる看護師になってほしいです。これからも一緒にがんばっていきましょう。

※プリセプター
▲5階西病棟勤務▼ 伊達 真与

※プリセプターとは、新人看護師の教育、指導を行う先輩看護師です。



▲ 5階西病棟は地域包括ケア病棟として、患者さま一人一人に寄り添った看護に取り組んでいます。

看護部長から一言

坂本 由紀子

看護部では今年度、新卒者、既卒者合わせて16名の新採用看護師を迎えました。以前は新人看護師といえば、高校卒業後、専門学校で学んだ後、入職される方が多かったのですが、現在は社会人経験を有して就職される方が増えてきました。現場でも師長をはじめ先輩看護師は、個性を考え、試行錯誤しながら指導に取り組み、成長を支えています。

来年度から、新しい看護部教育システムを開始する予定です。それぞれの背景やライフスタイルをお互いに大事にし、協力しながら一人一人がやりがいを持って仕事に臨める職場づくりを、これからも目指していきたいと思えます。



舌がんとは？

口の中にがんができる事は意外に思われるかもしれませんが、がんは体中どこにでもできうるもので、口の中も例外ではありません。口の中のがんを総じて口腔がんといいますが、がん全体のおよそ1%を占めています。舌がんは口腔がんのおよそ60%を占めます。またその90%以上が粘膜上皮から発生する扁平上皮がんです。それ以外は唾液腺などから発症します。

初期の舌がんは、自覚症状がほとんどなく、口内炎と似ています。口内炎のような症状で、時間が経っても治らない、または拡大傾向がある、潰瘍周囲に白色変があったり、または硬結を触れるなどの症状を認めるときは舌がんを疑います。また多くの場合、長期間表面に白色変が存在し、そこからがんを発症します。この白色

変を白板症といい、およそ3%ががんに変化するといわれています。舌がんが疑われる場合、病変の一部をサンプルとして採取し、病理学的に確定診断をつけます。口腔がんも他のがんと同様に転移を起こしますので、治療の前に頸のリンパ節、または他臓器への転移の有無を様々な画像検査を用いて調べる必要があります。

舌がんの治療

近年、抗がん剤、放射線治療の発達も著しいですが、舌がんの治療において最も信頼性が高いのは手術療法です。一方、抗がん剤、放射線治療もある程度効果は認められるため用いることもあります。また特殊なカテーテルを用いた超選択的動注化学放射線療法という治療を行うこともあります。初期舌がんであれば切除して縫縮するのみですむ場合が多

いですが、進行している場合は、頸のリンパ節に転移を来している場合が多く、頸のリンパ節またはその周囲の筋肉、血管を含めて切除する頸部郭清術が必要となることがあります。また、舌を半分以上切除する必要がある場合は、腕や腹部などの組織移植が必要になります。初期の舌がんは治療成績もよく、術後の後遺症もほとんどありません。

当院では、初期がんから組織移植が必要な進行がんまで対応しており、積極的に治療を行っています。また放射線治療科や他科の協力の下、放射線治療、化学療法も行っております。舌がんも他のがんと同様に早期発見、早期治療が非常に重要です。なかなか治らない口内炎など気になることがありましたら、迷わず是非一度ご相談ください。

歯科・歯科口腔外科

< 歯科系統括部長 >

うえはら まさたか
上原 雅隆

〔連載エッセイ〕

地域連携部 入院支援センター

入院支援センターとは

入院支援センターは、平成29年4月1日に地域連携部の中に新しく設置された組織です。当初は看護師1名と事務職員1名の2名でスタートしましたが、現在では看護師3名と事務職員1名の4名体制と充実を図っています。入院支援を行う場所も、正面玄関付近の入院支援センター（2つの面談ブース）だけでなく、旧理容室を改修し、平成30年10月1日から2つの面談ブースを拡充しました。

入院支援業務は、最初に看護師が患者さまの情報を聞きとり、入院生活の説明を行います。次に管理栄養士が食事の嗜好等を確認します。最後に、事務職員から健康保険証や高額療養費、医療費について説明を行っています。

このような業務を入院前に行うことで、入院する患者さまが入院生活や入院後にどのような治療

過を経るのかをイメージできるような理解を深め、不安を少なくすることで安心して入院できるよう支援しています。

また、入院支援センターにおいて看護師をはじめ管理栄養士や事務職員が対応することにより、入院前の説明並びに手続きを統一化し、多職種による情報共有を行うことで、安心・安全の患者サービス提供と入院時から退院支援に取り組める環境作りを目指しています。

これからも患者さまにより良いサービスを提供できるよう努力してまいりますので、皆さまよろしくお祈りします。



地域連携部
入院支援センター 主査 しろやま けいすけ
城山 恵介
皆さまに喜ばれるよう頑張ります。

青島市市立医院より考察団、来院

市民病院からの
お知らせ
hospital news



下関市と中国山東省青島市は友好都市として交流を行っており、当院と青島市市立医院も両病院の友好促進と医療技術の発展のため、1994年に友好病院協定を締結しました。その翌年から相互に訪問を重ね、今年で24年目を迎えます。今年度は、12月14日に青島市市立医院から高主任をはじめ4名の医療考察団が当院を訪問されました。

当日は、まず正面玄関で盛大にお出迎えした後、新館にて歓迎セレモニーを行い、下関市の紹介や当院の特徴などについて説明を行いました。現地視察では、緩和ケア病棟、透析センター及び化学療法センターをご案内しました。



中国では、緩和ケアのような患者さまの身体的苦痛のケアに加え、患者さまとご家族の社会的苦痛、精神的な苦痛などにも対応した総合的なケアが普及していないようで、緩和ケアに対して強い関心を持たれ、様々な質問をしておられました。これは、中国は人口が多く、毎日膨大な数の患者さまを治療しなければならぬため、病気をもの治療に専念する傾向が強いからかもしれません。また、透析センターや化学療法センターにおいても、当院の説明に熱心に耳を傾けておられました。

医療考察団の皆さまは、この交流に大変意欲的に参加しておられ、医療技術や症例に係る情報交換などに、もっと多くの時間を費やしたいとのことでした。今後はさらに充実した交流にしていきたいと考えています。

△副院長▽ 上野 安孝

地域医療連携の会を開催しました

平成30年11月14日（水）、下関市立市民病院地域医療連携の会を開催しました。



地域医療連携の会は日頃から当院と連携協力をしていただいている登録医の先生方、医療関係者の方々をお招きし、日頃顔を合わせる機会の少ないスタッフと直接顔を合わせ、更なる連携強化を図るための取り組みです。

第一部は、当院診療科の取り組みなどの紹介、第二部の懇親会では、料理を交えながら意見交換を行い親睦を深めました。

今後も「地域医療支援病院」として、下関地域の医療機関との連携を図り、地域医療支援を一層強化し、市民の皆さまによりよい医療を提供できるよう努力を続けてまいります。

新任医師の紹介

平成30年12月より着任致しました耳鼻咽喉科の増田智也と申します。

これまで、九州大病院、九州医療センターで主に頭頸部の腫瘍性疾患の診察を行ってまいりました。下関市立市民病院では、平部長のもと、一般耳鼻科を中心に診療に臨んでいく所存であります。まだまだ若輩者ではありますが、地域の皆さま



【耳鼻咽喉科】
医師 増田 智也

当院で働く職員を紹介します。

もっと知りたい。

言語聴覚士



「言語聴覚士」の主な仕事内容を教えてください。

言語や摂食嚥下、聴覚の機能が低下している方に評価を行い、患者さまやご家族に言葉や飲み込みの状態をお伝えし、今後のリハビリテーションの計画などを説明します。患者さまに関わる看護師や理学療法士、作業療法士、管理栄養士などに、どうすればコミュニケーションが取りやすくなるか、安全な飲み込みができるのかを伝え、少しでも入院生活が良くなるように考えていきます。



▲それぞれの方の状態に合わせて指導・訓練を行います。

「言語聴覚士」を目指したきっかけは何ですか？

元々リハビリテーションの職種に就きたいと思っていて、専門学校入学試験時の第2志望の言語聴覚士に合格したのがきっかけです。入学して色々学んでいくうちに、言葉や摂食嚥下に対してより興味がわき、とてもやりがいを感じながら仕事をしています。

「リハビリテーション部」はどのような職場ですか？

リハビリテーション部は医師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、助手の総勢30名で構成されています。多職種が自分たちの役割を確認し合い、患者さまの目標を達成するために全力を尽くしています。また患者さま、ご家族などに、より質の高いリハビリテーションを提供できるように日々研鑽を積んでいます。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

言葉や摂食嚥下に限りませんが、リハビリテーションはチームで関わることが重要です。

スタッフ間での情報を共有するツールなどが増えてきていますが、できる限り「直接会って話す」ことを心がけています。

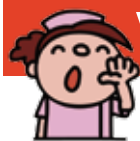
休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

この半年くらいは研修会の準備等で中々自由になることはありませんが、妻と休みが合った（合わせてくれています）時は、食べ歩きをしています。なので最近は運動もしてないので体重が…。



▲リハビリテーションはチームプレイ。コミュニケーションを大事にしています。

認定看護師
だより
Vol.22



感染管理
認定看護師

あさの 浅野 いくよ 郁代



当院では病院内の感染を防止するために、感染管理室を設置し日常の感染防止対策を行っています。外来では発熱、咳、嘔吐、下痢、原因不明の発疹、帰国後の体調不良がある方にご申告いただき、一般の方との接触が最小限となるようご協力をいただいております。また、入院中の方々へは感染症の治療において抗菌薬の適切な使用を推進しており、院内での感染まん延防止のために感染症の早期発見への体制強化や院内を巡回し様々な対策を実施しています。

このような取り組みを医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師で構成された感染制御チームが中心となり行っており、私もチームの一員として参加しています。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

だて整形外科リハビリテーションクリニック 院長 伊達 亮 先生



はじめまして、だて整形外科リハビリテーションクリニックの伊達 亮といいます。私は1年前に関門医療センターを退職し、当クリニックを承継しました。

下関市立市民病院の病診連携室の皆様、整形外科をはじめとした各科の先生方には日頃から紹介患者さんを快くお受けいただき、また逆紹介も多数いただき、本当にお世話になっております。

当クリニックは、1985年5月に開業し、33年が経ちました。これも、地域住民の方や市民病院や市内クリニックの諸先生方の支えがあつてのことで、この場を借りて御礼を申し上げます。

2018年9月にはリハビリテーション室を拡張する目的で、新規移転し、理学療法士・作業療法士を4名配置しており、今後も増員予定です。関節疾患、腰痛などに対する痛みの治療や運動器リハビリ、ロコモティブシンドロームなどの転倒リスクのある方に対する運動器リハビリの適応や転倒しても骨折しにくくするための骨粗鬆症治療を中心に、患者さんにわかりやすい説明と治療を心がけていきます。

まだまだ若輩者ですので市民病院の先生方や開業医の諸先輩方にはご指導・ご鞭撻いただきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

〒751-0849 下関市綾羅木本町2-4-22 TEL：083-254-0022 <整形外科、リハビリテーション科、スポーツ整形、リウマチ科>
月～金：9：00～12：30（最終受付12：00）、15：00～19：00（最終受付18：30）土：9：00～12：30（最終受付12：00）（午後休診）
運動器リハビリ（完全予約制）月～金：8：40～20：00 土：8：40～14：00

山口内科

院長 山口 敢 先生

当院は平成2年に住吉神社隣に父秀昭が開業し、昨年6月に私が継承しました。現在は父と二人三脚で日々の診療を行っています。

父は北海道大学出身なのですが、私も北海道大学を卒業しました（ちょうど30年後輩です）。スノーボードをやりてまた戻ると心に決めていましたが結局一度もできずじまいで、ボードを内視鏡に持ち替えて、九州大学病院やその関連病院で消化器内科医として診療に打ち込んできました。平成26年から4年間下関市立市民病院に勤めた後、前述の医院継承に至りました。胃カメラと大腸カメラを自分で自分にすることがあるのが自慢です。



従来通り地域のかかりつけ医として内科全般の診療を行いつつも、消化器疾患に関してはより専門的に貢献していきたいと考えています。胃カメラや腹部エコーは機器を新調し、内視鏡は麻酔をして受けることができます。今春には大腸カメラもできるようになる予定です。重症だったり入院が必要だったりする患者さんには市民病院との連携で対応しています。

胃腸に関してはもちろん、体の悩みならなんでもご相談ください。

〒751-0808 下関市一の宮本町2丁目4-6 TEL：083-257-1570 <内科、消化器内科>
月・火・水・金：9：00～12：30、14：00～18：00 木・土：9：00～12：30（午後休診）

外来診療のご案内

2019年2月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/大石 篤美	澤野 美由紀	具嶋 正樹	澤野 美由紀	大石 篤美
内科・呼吸器内科		宇山 和宏(※)				池上 博昭(※)
内科・循環器内科		金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人 金子 武生	辛島 詠士	辛島 詠士
禁煙外来(午後・予約制)						
内科・腎臓内科			坂井 尚二 中村 亜輝子	荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午後:吉村 潤子(※)	田中 洋澄 前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)			相良 理香子(※)(糖尿病内科のみ)		伊藤 淳(※)(糖尿病内科のみ)	
内科						原田 由紀子(※)(第1・第3)
内科・胆膵外来		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡 胃透視		澤野 美由紀	具嶋 正樹/大石 篤美 具嶋 正樹	澤野 美由紀 大石 篤美	具嶋 正樹/大石 篤美	具嶋 正樹 澤野 美由紀
心臓血管外科			上野 安孝/元松 祐馬		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前	牧野 一郎/宮竹 英志 持留 直希	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	江口 大樹	石光 寿幸 大谷 和広
	午後	院長外来(院外紹介) 宮竹 英志/持留 直希	乳腺外来 石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4) 江口 大樹	乳腺外来 石光 寿幸 ストーマ外来(新患)第2・第4 大谷 和広
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)		吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭/岡 壮一	井上 政昭(予約のみ)/本多 陽平
小児外科				増田 吉朗/九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/小柳 侑也	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 小柳 侑也(午後)
整形外科	再診	白澤 建藏/太田 浩二	渡邊 哲也/白石 さくら	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	綾部 裕介/大迫 浩平
	新患	橋川 和弘 綾部 裕介	太田 浩二 野村 裕(※)	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 大迫 浩平	山下 彰久 白石 さくら	渡邊 哲也 喜多 正孝(※)
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範	吉弘 悟	徳永 貴範
眼科		石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣	石村 良嗣(午前中) ロービジョン外来(第4午後)	石村 良嗣
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	河野 祥二	岡崎 咲栄	岡崎 咲栄 河野 祥二	河原 典子(※)	東 良紘(※) 永田 良隆(再診)
	予約制	アレルギー 心身症			大賀 由紀(※)	
	午後	健診・予防接種 アレルギー	河野 祥二		河原 典子(※)/岡崎 咲栄	
	予約制	慢性疾患 心身症 神経		河野 祥二/岡崎 咲栄	大賀 由紀(※)	永田 良隆(再診) 河野 祥二
産婦人科	午前	前田 博敬(第1・第3・第5) 川崎 憲欣(※)(第2・第4)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	二診				前原 佳奈(※)	
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 増田 智也	平 俊明 増田 智也
歯科・歯科口腔外科		上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 九歯大派遣医師	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 九歯大派遣医師
緩和ケア外来						牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋	尾中 貞夫	中原 千尋/江口 大樹	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋/横田 太郎

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援

病院の最新情報は
こちらから



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838
ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>
病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。